

令和5年度に取り組む主な事業 ～施政方針から～

令和4年度にスタートした第四次総合計画では、「未来につなぐ 心やすらぐ水辺のまち 我・孫・子」を将来都市像とし、その実現に向けた8つの基本目標と、施策を推進するための横断的な取り組みを掲げています。

未来につなぐ

基本目標1

誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり



地域防災力の向上
九都県市合同防災訓練
184万円

排水区の整備
柴崎・若松・布佐排水区の雨水幹線整備などの水害対策
5億2,531万円

基本目標3

子どもと子育てに あたたかいまちづくり

親と子の健康づくりの推進

妊婦・子育て世帯への相談支援の充実、妊娠期・出産後の経済支援

8,495万円

小・中学校施設の維持・管理

改修工事・設計、劣化調査など

1億8,397万円

学校給食費の補助

市立小・中学校に在籍する第3子以降の給食費無償化、第1子・第2子の給食費の助成など

1億8,305万円

子育て世帯への経済的支援(新規分)

高校生相当年齢の医療費助成(所得制限の撤廃や受給券の発行など)、0歳～高校生相当年齢の医療費助成(自己負担額上限制度の創設)

4,886万円



基本目標2

誰もが健康で自分らしく ともに暮らせるまちづくり



感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症対策、带状疱疹予防接種費用の助成など

5億8,461万円

高齢者のための地域福祉の推進

湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室の増員・移転など

730万円

心やすらぐ

基本目標4

活力あふれ にぎわいのあるまちづくり

起業・創業の支援

公園坂通りのにぎわい創出

913万円

観光振興策の推進

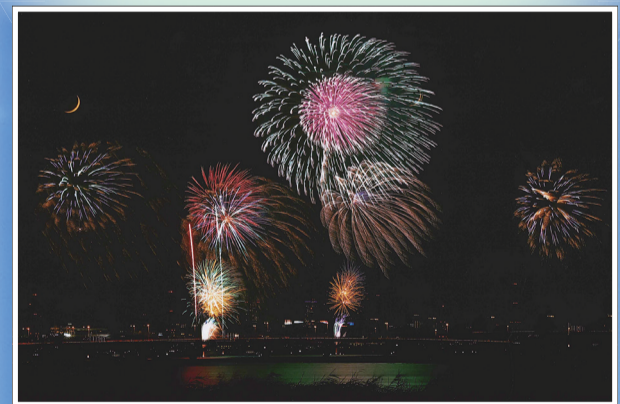
手賀沼花火大会の開催

1,579万円

障害者の一般就労相談・支援

チャレンジオフィスあびこの開設

905万円



地域コミュニティの活性化

近隣センターの老朽化対策

5,429万円

施策推進のための 横断的な取り組み

公共施設の管理・運営

市役所庁舎の老朽化対策

1億588万円

